

MMC通信

発行日 平成17年2月1日(第4号)

発行元 NPO 法人MMC 卒後臨床研修センター

514-8507 三重県津市江戸橋 2-174 三重大病院卒後臨床研修部内

Tel&FAX 059-231-5429 URL <http://www.mmc-center.com>

初めての臨床懇話会に応募24題 ～指導医講習会にも49名が応募～

来る2月5日(土)14時からホテルグリーンパーク津において県内の研修医、指導医のレベルアップと、病院の枠を越えた交流を目的として、第一回 MMC 卒後臨床懇話会が開催される。当初、初めての試みであることや、研修各科が多岐にわたることもあり、演題の応募状況が心配されたが、研修医と指導医の熱意もあり、最終的に24題の演題応募があり、事務局ではうれしい悲鳴をあげている。病院によっては、院内で予選会を行い厳選した演題を応募する施設もあり、今回の懇話会(症例発表会)への意気込みが感じられた。この会のユニークな点として、様々な領域の症例報告に対して、様々な分野の指導医が、座長としてあるいは会場から参加することである。科別、縦割りになりがちなローテート研修において今回の試みは臨床研修制度の趣旨からも、有意義なものであると思われる。発表の結果は、内容、考察、質疑応答、プレゼンテーション等の項目について審査員によって採点され、優秀者には、豪華賞品と共に表彰を行う(1年次、2年次それぞれ)。また、最優秀賞の演題を指導した指導医に対しても、再優秀指導医賞として表彰することになっている。表彰式は発表終了後情報交換会のなかで行われ、司会には、FM 三重パーソナリティでドック MMC でもおなじみの小畑美奈子さんがかけつけてくれることになった。この1年あるいは2年の研修の成果を存分に発揮されることが期待される。

第二回 MMC 新臨床研修指導医養成講習会

3月4日(金)から3日間にわたって鈴鹿サーキットフラワーガーデンホテルにて開催される MMC 新臨床研修指導医養成講習会についても、先頃応募を締め切った。当初40名の定員で募集したが、51名の応募があり(2名は辞退)、関係各所、講師とも調整の上、最終的には参加者49名、講師スタッフ15名の大所帯で開催することとなった。指導医養成講習会は全国的にも広く行われ、昨年度より厚生労働省の承認も得られるようになり、将来的に臨床研修指導医としての必須資格となることが予想されている。今回の特徴として参加者が、県内20施設と多くの施設からの参加を頂いた点、女性指導医が5名参加と大幅に増加したことがあげられる。限られた時間で、多くの内容をこなす必要があり、朝8時から夜9時過ぎまで、ぎっしり詰まったスケジュールではあるが、普段の現場を離れて参加者同士で、楽しい時間を過ごしてもらえればと、事務局では急ピッチで準備を進めている。事務局では、このような活動を通じて、三重県の臨床研修を充実させ、魅力あるものにしていきたいと語っている。



～情報コーナー～

第3回 輸液セミナーのご案内

日時:平成17年2月3日(木)

19:00～ 場所:四日市都ホテル

日時:平成17年2月4日(金)

19:00～ 場所:松阪フレックスホテル

「病態別輸液管理 - 肝疾患・腎疾患・etc -」大塚製薬 輸液学術部 顧問 杉本 比 先生

第2回

MMC Advanced OSCE大会

<日程>平成17年3月26日(土)

<場所>鈴鹿中央病院

*近日参加者を募集します。

平成17年度研修医

オリエンテーション

<日程>平成17年4月4日(月)、5日(日)

<場所>三重大学病院

<主な講師陣>邊見公雄先生(赤穂市民病院院長) 元気の出るセーフティーマネジメント

田中 千尋 先生 (Office Bless You)

医療接遇とコミュニケーション

田中まゆみ先生(聖路加国際病院)

若い医師へのメッセージー米国での研修、実地体験を通してー

辻本好子先生 (COML 理事長)

患者中心の医療とは

*他にも県内外から豪華講師陣によるオリエンテーションを予定しています。(詳細次号でお知らせします)

平成17年度

MMC 臨床研修合同説明会

<日程>平成17年4月30日(土) 14:00～

<場所>三重県総合文化センター:ブースに分かれての面談。プレゼンテーション、指導医、研修医との交流会を予定。

MMC 研修医救急セミナー(仮称)

<日程>平成17年4月16日(土) 時間未定

<場所>津都ホテル:特別講演、研修病院の救急研修の紹介他(詳細次号でお知らせします)